

Tidal Enterprise Scheduler : コンソールのデバッグ モードで Windows のマスターを実行する方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、コマンドラインからデバッグ モードで Windows Master Service を開始する方法について説明します。この情報はマスター サービスを開始することを含むトラブルシューティング問題で有用です。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Tidal Scheduler 5.3.1 以降
- Tidal な スケジューラー マスター

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

コンソール デバッグ モードの Windows マスター サービスを実行するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. リモートは Cisco Tidal な マスタースケジューラー サーバに管理者としてログイン接続し。
2. コマンド プロンプトを開くために Start > Run の順にクリックして下さい。
3. `cmd` を入力し、『Enter』 を押して下さい。
4. TIDAL なスケジューラー\マスターをマスタースケジューラーの位置にナビゲート するために `cd \プログラム ファイル` 入力して下さい。注: デフォルトでマスタースケジューラーへのパスは `C:\Program Files\TIDAL\Scheduler\master` です。 デフォルトパスにインストールしなかった場合 `cd` コマンドのパスを変更して下さい。
5. 型 `samaster.exe -デバッグ`。このコマンドはデバッグ モードのマスター サービス プログラムを開始します。 コマンドを実行すれば、コマンドプロンプトウィンドウの情報スクロール。 この情報はマスター サービスが開始しなければ、そして解決するためにマスター ログを受け取らなければ非常に有用です。

このイメージはデバッグ モードで開始するマスター サービスの例を提供します。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)